



精密なラジオ擴聲機 小名濱小學校に据付く

大平勳氏らの篤志で實現

小名濱小學校に日支事變二周年の記念施設として第二國民の健全な養成を主眼とした篤志家の寄附に依りラジオ擴聲機が据付けられた。擴聲機は校長室に取付け各室毎に聴取設備を施し、ラデオ、蓄音機、マイク、ホーンの備付があり校長室のマイク、ホーンの前に發聲すれば各室に居ながら聴取出来る最も新式精巧な機械で縣下にも稀であり小名濱校の一つの誇りたるに充分である。

漁港を飾る白アの二階建

水産工業本社落成

新館への移轉は十五日

磐城水産工業株式會社にてある、代行部の建物は洋式は豫てより一萬圓の工費白アの二階建て二階は會議を授け魚の元締たる代行部室階下は事務所、應接間重として取しからざる本社を從室等よりなり隣接建物は改築中であつたが、この程賣店となる筈である。しん工を告げ来る十五日に因に落成式は魚市場、海産物商組合と三者同時に

潮干狩

小名濱校の

全校児童二千余名あす下神白海岸へ

毎年の行事として海濱魚貝行方を眺ましたので十三日午の貨物教育に資する小名濱夫から平野へ搜索願

磐城丸目下出漁中

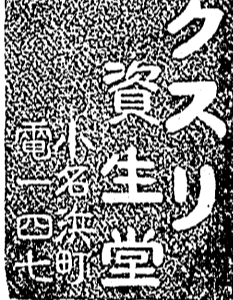
指定區域は悲觀的成績

本省の國策的指示に基き與所生三十名は十二日入山炭へられた漁區を調査中の本縣を見學、同日歸郷した縣指導船船長丸目下第二回目出漁中にあるが目的のトンボ鮎は不漁にて共同的行動を採つてゐる東京、三重、岩手各府縣何れも不良の成績である、因にトンボ鮎漁場調査が主なる目的であるため漁不漁に拘らざる本省よりは一萬圓の補助金が下附されてゐる

種付牝馬の妊娠鑑定

左記三氏

石城郡産馬産組合では組合馬の生産増加を計るため今十三日三坂村上三坂幼駒運動場で妊娠鑑定、不妊の診断、治療、内寄生虫驅除手術等を行つた、指導者は左記三氏 縣種畜場長河原田技師、入山見學 本縣巡查教習



準罐代用の類刺鯛

拾車を糧秣廠へ納入

小名濱海産加工組合の御手柄

近年全國的に穀價を高めてに忙殺されてゐるが、用意徒二千名の小國民の体位向來小名濱海産加工組合の周到なる組合では類刺鯛拾上の意味からしても極めて望ましく父兄からも喜ばれてゐる

四行倉庫突撃の勇者(平市)

齋藤君、けふ晴れの歸還

過ぐる上海戦四行倉庫の突撃間村沼の内新町大友金吾は一番乗り勇名を轟か氏外十八名は金五圓を國防幣に換へた

皇軍慰問中支視察旅行報告

駒木根忠三

現時局下に最も該適した一周年記念日に一品國家的な計畫として事變下けん納をおこなひ十中支視察並に皇軍慰問の旅圓を得たので山野邊村長代を星製菓會社で計畫し私無理助役が十三日平野を通じて國防費にけん金

十一名の同勢である六月十過ぎませぬが星獨特の今日三日神戶出帆山形丸にて黄の金によつて得た多大の支河を渡りあらゆる各國の人那見聞知識は國家的見地よ種の集園地上海上陸しそりみて大きな意義があるのれから蘇州南京まで行つてではないかど秘かに確信致丁度十八日かゝつて皇軍慰して居る次第であります

等をし察し短時日を生々端を茲に御披露して聊か皆しい事變下支那の風貌に接様の御参考に供したいと存し色々有益な學問して去るします

廿九日無事この大きな大使命を果して歸つて参りました

私に因り一介の農民に

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 鈴木定藏
外科 部長 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 鈴木定藏
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す(急患は此の限にあらす)

宅扱と小口扱貨物は
磐城海岸軌道線指定
小名濱運送株式會社
小名濱本社電話 二六番
泉驛出張所電話 十五番
江名濱出張所電話 二六番

